



HP

HP: <https://www.tagawa-kenrou.or.jp>
E-mail: tagawa-kenrou@tagawa-kenrou.or.jp



E-mail

発行所

＝ 全建総連加盟 ＝

田川建設労働組合
教宣文化部

山形県鶴岡市大塚町26-13
電話 (0235) 22-2832
FAX (0235) 22-3370



角獅子の様子

山王様の獅子舞 「日枝神社獅子舞社中」

今回紹介するのは、鶴岡市山王町の日枝神社獅子舞です。起源は天生年中（一五七三〜九三）に疫病や強盗が流行し、大宝寺村の宮侍の先祖供養と悪事退散の為、笛・太鼓で町中を巡回して疫病を祓い除いたことに由来します。

現在会員数は九名で活動しており、子供達用に小さい軽い獅子頭を作成して教える等、後継者育成も見据えた取り組みや積極的に外部上演も行っており、役者のモチベーションの高揚に繋がっているようでした。取材したのは四月十三日、角獅子の忙しい時期でしたが、組合員の武田常重祈さん（禰宜・田川分会）、佐藤敏幸さん（獅子役・豊工分会）、他の皆さんと共に楽しい時間を過ごされました。

（記・教宣部 本間 吉紀）



執行委員長

和田 吉 和

発刊に寄せて

組合員の皆様、御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より組合活動、建設国保の諸運動に多大なる御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

先の第七十回定期大会に於いて、皆様より御審議頂き承認されました予算、事業方針で令和七年度が計画通り活動をしている状況にあります。

昨年は、能登半島地震、山形県の七月豪雨、奥能登豪雨、令和七年二月二十六日から発生した岩手県大船渡市の山林火災と、自然災害が発生する度、応急仮設木造住宅建設に御協力頂いた組合員の皆様に深く敬意を表します。

昨今、「建設キャリアアップシステム（CCUS）」について、六十代後半でレベル4を取得した職人から、評価は受けたが仕事や待遇に反映されず、役に立たないというご意見がありました。地元密着の住宅や小規模工事を担う『町場の職人』達からは、「登録や更新の費用が高い」「登録しても仕事に直結しない」「現場では誰もカードを使っていない」といった声も根強く、実際、取得しても活用されていない例が少なくありません。しかし「CCUS」は職人一人ひとりの資格、経験、現場履歴をデジタルで記録し、正当に評価することを目的とした国の制度です。ICカードで就業履歴を記録し、経験年数や講習、資格に応じた「技能者レベル1〜4」も判定されます。これにより、将来的には「技術のある職人がきちんと報われる」仕組みを作ろうとしています。二〇二四年度からは、公共工事での原則登録義務化が本格化しています。大手ゼネコンも下請業者に登録を求める動きを強めており、制度が避けられないものとなる現場も増えていきます。組合としては、CCUSを「万能的な制度」として押し付けることはしません。それぞれの職人や会社の仕事の内容や将来の見通しに応じて判断できるように、情報提供とサポート体制を整えていくことが重要だと考えています。公共工事やゼネコン現場が多い職人、親方には制度活用の説明や登録支援を強化、町場の職人には必要になった時にすぐ対応できる準備という立場で柔軟に対応していきます。

結びに、今年は猛暑の予報が出ています。組合員、御家族様のご健康をお祈り致します。共に頑張りましょう。

第70回

田川建設労働組合

定期大会

令和七年二月二十三日、グランドエル・サン、ローズルームを会場に、第七十回田川建設労働組合定期大会が開催されました。

昨年より、参加代議員はスーツもしくはジャケット着用との申し合わせも定着しつつ、九十二名の代議員の参加となりました。会場には支部分会旗が掲げられ賑やかな雰囲気



▲会場内に並んだ支部分会旗

の中、定刻の午前十時、奥山大会準備委員長の司会進行により、物故者への黙祷、大会役員の選出と続き、議長団に鶴岡地協より大瀧金市氏、東田川地協より阿部義昭氏、西田川地協より佐藤晃氏が指名



▲要望を行う代議員

され会議となりました。大井資格審査委員長より代議員定数の確認と大会成立要件が満たされた事が報告され、議事日程の承認を受け開会となりました。

和田執行委員長の挨拶に続き、皆川治鶴岡市長、加藤鮎子衆議院議員、他十四名の来賓の方々より祝辞を頂き、休憩後、祝電披露、西雅史全国建設労働組合総連合書記次長より本部報告が行われました。昼食休憩終了後、議事に入り、第一号議案令和六年度経過、決算、監査報告が行われ、質疑に入りしました。豊浦分会よ



▲団結ガンバローの様子

り活動報告が紹介され、職場体験に於ける指導者対応に対応して要望がされた後、承認されました。第二号議案、組合規約の一部改正案が事務局より提案され承認されました。第三号議案では、令和七年度運動方針案が事務局、各専門部長より提案され質疑に入りました。その中で豊浦分会より今後の後継者育成に対しての対応を検討して頂きたいと要望があり、執行委員長より検討するとの答弁があり、第三号議案は承認されました。休憩を挟んで第四号議案、一時借入限度について提案、承認を受け、全ての議案が承認されました。その後、スローガンが読み上げられ、議長団解任となりました。

表彰式では、純増拡大、夏

秋ハガキ百%達成、建設国保特定健診受診率七十%達成報奨の授与が行われました。関川県連委員長のガンバロー三唱の後、佐藤晃副執行委員長

全国労働安全衛生対策活動者会議

副執行委員長 佐藤 力

この度、県連の労働対策部長に任命して頂き、初の全国労働対策活動者会議に参加させて頂きました。山形建労の森谷さんと一緒に参加したので、幾分心強く参加できました。東京駅で待ち合わせをし、時間通りにスケジュールがこなせるか不安でしたが、お互いに待ち時間がさほどなく会うことができました。な

初日の議題の一つ目、アスベスト訴訟の経緯の説明で首都圏建設アスベスト東京訴訟弁護団、佃弁護士講演と更なる応援をお願いされました。

二つ目は、安全衛生法の改正についてで、全労働省労働組合副中央執行委員長、南氏による講演でした。今国会で審議中の最新の情報でしたが、詳細については、審議中の為、説明できない部分も多いとの事でした。

二日目は、非専従役員と担当書記等の事務者に分かれての分科会で、学習、交流を行いました。

今回、山形県のお食事処はとても美味しく、食後に食中毒の心配した事が無いという事に気付きました。

の閉会の挨拶により、第七十回定期大会が無事閉会となりました。
(記・教宣部 村上 寛)

第64回

県連定期大会

財政部長 今 野 秀 逸

令和七年四月十七・十八日、参加人員、代議員七十三名、組合員、役職員、計一〇六名で開催されました。司会に関雅人氏（天童）、議長に笹原敏氏（新庄）、垂石昌士氏（長井）の二名、委員長挨拶、来賓挨拶と続きました。

その後、全建総連西書記次長より本部報告を頂きました。その内容は、三月末の全国の組織人員が一年で、八千三三二人減少し五九万九四九二人になり六十万人を割り込んだということ、人手不足による事業所の新規雇用の鈍化、事業所退所、高齢による脱退が続いており、過去最大の危機的な状況であるということ、担い手三法改正、労働者の処遇改善、適正な賃金の支払いが盛り込まれる標準労務費の策定、著しく低い労務費の

禁止、資材高騰の価格転嫁の協議ができる環境づくりが大切とのことでした。

その後、第六十三期経過報告、決算報告、質疑に入り、第六十四期運動方針案・予算案提案後、各分科会に入りました。

私と村山事務局長は、共済・財政分科会に参加しました。十六名参加で、各組合の共済



▲全体会議の様子

金の金額と組合費の値上げを現在考えているのかという協議報告が行われました。

共済金は、田川同様に七十〜八十万円が多く、今後の運営にも不安を感じている様でした。

組合費は、ここ二〜三年ですでに値上げしている組合もあり、中には千円値上げした組合もありました。

分科会終了後、運動方針に対する質疑で、私からの「全建総連では令和八年八月から二十円値上げするという事で

すが、県連では何時からいくら値上げする予定ですか」という質疑に、県連の和田財政部長の答弁は「県連費も値上げの予定ですが、金額等はこれから執行委員会等で検討していきたい」ということでした。

その後、運動方針関連が拍手多数で承認されました。大会スローガン確認、功労者表彰、議長団及び大会役員解任、副委員長の閉会の挨拶、ガンバロー三唱で閉会となりました。

が始まりました。組織・教宣の分科会という事で、各組合で組合員確保や組合自体のPRのやり方、またどのような情報発信をしているかを報告しました。その報告の中で、インスタグラム、フェイスブック、ホームページを効果的に利用したらといった意見もありましたが、それも一長一短があるのではという声も聞かれました。他では、ラジオでPRを流している組合もあり、各組合でそれぞれに工夫を凝

県連定期大会分科会

令和七年四月十七・十八日に第六十四回山形県建設労働組合連合会定期大会が天童温泉『天童ホテル』で開催されました。私は初めて参加させていただきました。

議事日程の中で、午後二時十分頃から分科会（五分科会）が各専門部に分かれ別室にて開催されました。その中の第四分科会（組織・教宣）へ出席しました。先ず初めに、出席者全員が所属組合や職種などを自己紹介してから会議が

らしているようです。新聞発行に関しては、田川と同じで酒田も年二回「かわら版」なるものを発行しているとの報告でした。他の組合では以前は発行していましたが、途絶えてしまっている現状との報告でした。



▲分科会の様子

一時間三十分程の時間ではありましたが、活発な意見交換が行われ、各組合の考えや声が聞けた事は大変貴重な時間となりました。

（記・教宣部 佐藤 勝弘）

第29回 グラウンド ゴルフ大会

組織対策部長

佐藤 晃

田川建設労働組合グラウンドゴルフ大会が、五月十八日(日)羽黒町創造の森で八十三名の参加者の下、行われました。組合活動の中でこのように多くの組合員が参加する行事も少なくなってきました。今年にはプレー前の準備体操として、鶴岡市体育協会の阿部さんよりストレッチ指導をして頂きました。慣れないストレッチに悲鳴のような声もありましたが、皆さん楽しんで体を動かしていました。プレー開始後は、ホールインワンが出るたびに歓声が上がり、各チーム楽しい交流ができました。五月晴れとはいえませんが、雨の心配もなく最後まで楽しんでいただきました。



▲プレーを楽しむ参加者

来年も、多くの組合員の方々の参加を宜しく願います。試合結果は次の通りです。

*男子の部

一位 渡部 均 (余目) 三十七打

二位 太田 繁雄 (立川) 三十九打

三位 菅原 良彦 (櫛引) 三十九打

*女子の部

一位 乙坂 美紀 (藤島) 五十一打

二位 鈴木 和子 (建具) 五十四打

三位 佐々木智美 (余目) 五十八打

二町一村 申入れ行動

賃金・税金対策部長

佐々木 博良

仕事日和に恵まれた晴天の五月一日、恒例の二町一村申入れ行動に三役と共に参加してきました。

午前中は三川町と庄内町、午後には大蔵村の順番で各首長に面会し、各自自治体のリフォーム支援等の制度継続や末端建設職人に設計労務単価が行渡るようにご指導頂きたい事、若手建築技能者育成と地元職人の活用にご配慮のお願いの



▲庄内町町長(左から3人目)と

三点に加え、今年は組合結成七十周年記念式典並びに祝賀会にご臨席賜りたい旨、お伝えしてきました。

面会の中で、三川町では空き家問題が悩みの種のようにでした。以前、庄内町でも同様の問題が出て前町長とお話した記憶がありますが、組合と同じく人口減少の地域では致し方無い事かもしれません。建てるもお金、壊すもお金。自治体の手腕が問われる事でしょう。

大蔵村村長との面会は午後三時からの為、時間調整として村内で昼食を取り、新庁舎建設予定地の下見をして肘折温泉まで足を延ばしました。雪だるまの大蔵君を眺め、温泉饅頭を土産に買いました。面会の中で、新庁舎建設にあたり地元組合員に協力をお願いして頂いたことが収穫でした。朝九時から始まり夕方五



▲三川町町長(左から3人目)と

時組合到着し、一日が終わりました。

賃金部長としての思いは、物が少ないから高くなったコスト問題と同じで、職人の数が減少している今、資材の値上げ分の上乗せ等で賃金アップはできるはず。個々の気持と書き方次第、安請け合いはしない。法定福利費は別枠で記載して請求し、持続可能で夢のある職業になるようガンバリ！



▲大蔵村村長(左から3人目)と

編集談話室

五月に入った鶴岡の街では、社員の仲間入りをしたばかりの新社会人と思しき姿が見受けられます。ただ嬉しいながらも成長意欲にあふれ、仕事を覚えようと奮闘している姿を見て、微笑ましく感じています。

この間見ていたテレビ番組で感じた事がありました。その番組は、店側が客に対して過剰とも言えるサービスを提供している全国各地の店を紹介する番組です。そのとき紹介されていた飲食店では、店主が立つ厨房に「初心忘るべからず」という文字がデカデカと飾られていたのです。曰く、これは店主が日頃大事にしている心掛けで「常に調子にのらない。料理の手を抜かない。初心を忘れちゃうと何かが起きそう。」と真剣な表情で話しているのが印象的でした。

新社会人たちが抱いているであろう「初心」、飲食店店主が開業後ずっと大切にしていた「初心」にふれ、置かれた環境は違えど自分も職人としての「初心」を大切にしたいものだと考えました。

(記・教宣部 本間 吉紀)